

第 1 回大竹市地域公共交通活性化協議会

記 録 票

日時：平成 27 年 5 月 12 日（火）

午後 2 時 30 分～

場所：大竹市役所 3 階大会議室

出席者等：別紙「名簿」のとおり

1 開 会

人事異動に伴う新任委員の紹介

会長挨拶

2 議 題

(1) 平成 26 年度事業経過報告について

【事務局（三上）】 資料 1 により報告。

資料 5 により「公共交通運行状況」、資料 6 により「数値目標の達成状況」報告。

○質 疑 等 なし ⇒

(2) 平成 26 年度会計収支決算（案）について

【事務局（大知）】 資料 2 - 1, 2 - 2 により報告。

【監査委員（古川）】 監査報告。

○質 疑 等 なし ⇒

(3) 平成 27 年度事業計画（案）について

【事務局長（吉田）】 資料 3 により説明。

支線交通の本格運行への移行を判断する基準の検討は 5 月～6 月に各運行委員会で検討する。

資料 7 により「恵川橋橋梁補修工事の概要」説明。

○質 疑 等 なし ⇒

(4) 平成 27 年度収支会計予算（案）について

【事務局長（吉田）】 資料 4 - 1, 4 - 2 により説明。

○質 疑 等

【住田委員】再編交付金が多額であるが、今後交付されないことがあれば大変厳しい状況になる。これからも再編交付金に頼るのか。

【事務局長（吉田）】基金がある間は公共交通事業に充当する。

【住田委員】再編交付金が交付されなければどうなるのか。10年くらいで終わると聞いたがどうなのか。

【青森委員】10年後は未定である。

【会長（小田）】収支率を上げ、公共交通が持続できる仕組み作っていく必要がある。

⇒

承認

3 その他

【片山委員】こいこいバスは窓にカーテンもなく、夏は陽射しが強く利用者が陽射しが入らない席へ移動する。できれば、遮光フィルムを貼っていただきたい。また、座席にしみがあり座席カバーを取り付けていただきたい。

【事務局長（吉田）】検討する。

【小田会長】広告収入を増やす検討をしてもらいたい。

次回の協議会開催について

【事務局長（吉田）】次回協議会は恵川橋橋梁補修工事に伴う大竹・栗谷線バス、こいこいバスの迂回ルート等を検討する必要があるため、9月に開催する予定である。